



アニメーション映画 未来に向けて ～防災を考える～



あいぽーとからのお知らせ ～アニメーション映画上映中～

北上川学習交流館 あいぽーとでは、2011年3月11日に起きた東日本大震災で、津波による被害から多くの命を守った二つの地域を取り上げたアニメーション映画を上映しています。

〈備える編ストーリー〉

一つは、岩手県普代村で当時の和村幸得村長が、反対する声もあったなか「明治に15メートルの大津波が来た」という言い伝えにこだわり「高さ15メートル以上」の信念のもと、1967年に高さ15.5メートル全長155メートルの太田名部防潮堤、1984年に高さ15.5メートル全長205メートルの普代水門をそれぞれ完成させました。この二つが村を守ったというお話です。

〈学ぶ編ストーリー〉

もう一つは、岩手県釜石市の大槌湾に面した鶴住居地区で、津波により壊滅的な被害を受けた中、小学校と中学校にいた児童、生徒は全員避難し無事でした。これは釜石市教育委員会と現場の教師や子供たちが熱心に防災教育に取り組んできた成果だったというお話です。



アニメーション映画上映の様子



カスリン・アイオン台風の洪水クイズの様子

3月18日～20日には、あいぽーとで、上記の上映会やカスリン・アイオン台風等の洪水クイズなどのイベントなども開催しました。
(受付横PC)

多くの子供たちの防災意識が高まり、教訓を後世へ伝えてもらいたいと願っています。

◆◆編集後記◆◆ ぼくのクイズわかるかな。挑戦してみてね。

台風被害や洪水への備え、とっても勉強になるよ！あいぽーとで待ってるよ！



胸に刻もう 『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～